



地域社会との共生

地域の環境や人々の想いを理解し、感度を高め、未来のニーズを考えます
— チャリティ、人づくり支援、住み続けられる街づくり —

台湾地震災害義援金

2018年2月6日の深夜、台湾東部で最大震度7の地震が発生、震源のあった花蓮県では建物の倒壊、道路に亀裂が入るなど、ライフラインに甚大な被害を受けました。

台湾新竹市の本社を中心にアジア地区で半導体製造装置の販売・サービスを行う Kokusai Electric Asia Pacific Co., Ltd. は、従業員・家族の安否、お客様やお取引先様の無事を確認後、直ちに同社寄付金によるマッチングファンド方式で従業員募金を実施しました。(株)日立国際電気もマッチング相当額を寄付金として追加支出、また国内グループ会社とともに役員・従業員による募金活動を行い、両社の募金、寄付金合わせて2百万円余が花蓮県政府に送金され、同県の救援・復旧活動に役立てられました。

亡くなられた方のご冥福と、被災地の早期復興を祈ります。



倒壊した建物と花蓮県消防局による救援活動 写真提供:花蓮県政府

冬に備えキムチ作り奉仕活動に参加

Kokusai Electric Korea Co., Ltd. の社員15名が、お客様関連の奉仕団体が実施するキムチ作り奉仕活動に参加しました。冬を前に、経済的に困難な独り暮らし高齢者や親のない子供達に配るため、およそ100名のボランティアが京畿道安城市の教会に集まり、約4時間かけて2,000個ほどの白菜を漬け込み、キムチの袋詰めにして同市の福祉施設に届けました。(2017年12月2日)



白菜を薬味に漬け込む

学生向け事業所見学会開催

2017年9月22日、富山県教育連携部会主催の「大学コンソーシアム富山 合同企業訪問企画」により、24名の大学生、高専生が来社、事業所見学や先輩社員とのディスカッションを行いました。本企画は、学生が県内で働くことの魅力を発見して就業意識の向上を図る目的で毎年実施されています。当日は3名の先輩社員が仕事紹介や当社での働きがいなどを伝え、学生の皆さんからも活発な質疑応答があり、有意義な見学会となりました。その他にも地域の高校生(八尾高校、砺波工業高校、高朋高校など)を対象とした事業所見学も定期的に行っています。



先輩社員とのディスカッション



活発な質疑応答

おわら風の盆、曳山祭への協賛

富山事業所は立地する地域との融和および地域振興の一助としておわら風の盆、曳山祭への協賛寄付を毎年行っています。

おわら風の盆は、富山県富山市八尾町で、毎年9月1日から3日にかけて、八尾町の中心部にある11の町が参加し、それぞれの町ごとに越中おわら節の哀切感に満ちた旋律に乗って踊りを披露するお祭りです。また、曳山祭も八尾町で毎年5月3日に行われる江戸時代中期より続く八尾八幡社の春季祭礼です。2つのお祭りとも毎年県内外から多数の観光客が訪れる富山県を代表するお祭りであり、協賛寄付の一部は伝統文化の継承に役立てられています。



おわら風の盆(9月)



曳山祭(5月)



地域社会との共生

地域の環境や人々の想いを理解し、感度を高め、未来のニーズを考えます
— チャリティ、人づくり支援、住み続けられる街づくり —

スカウト活動広場に円形劇場を建設

Kokusai Semiconductor Europe GmbH; ドイツ、エアクラート市から、6名が地域のボーイ/ガールスカウト活動用広場に木造の円形劇場を建設し、周辺部分を整備するボランティア活動に参加しました。地域のシニアレンジャーとボランティア、総勢約60名で完成させた、エアクラート市で最初の円形劇場は、地域のさまざまなイベントに役立っています。(2017年9月15日)



まず立体模型で形状を勉強

地域の植樹活動に参加

中国で半導体製造装置の販売・サービスを行うHitachi Kokusai Electric (Shanghai) Co., Ltd.の西安支社から11名が、週末の休日を利用して、西安市郊外南部にある祥峪山地での植樹活動に参加しました。

シャベルやスコップを初めて使う人もいて、植樹作業には手間と時間がかかりましたが、苗木がしっかり土に馴染むよう、互いにサポートしながら楽しく行いました。

活動前は何も無かった小さな丘に、植樹した苗木が育つことで、緑豊かな風景になることを一同、心から楽しみにしています。

自分たちが協力することで、住んでいる地域に対し、貢献できることを実感しました。(2017年3月25日)



植樹活動中のひとコマ



植樹を終え、参加メンバー全員で記念撮影

「さいたまロードサポート制度」への参加

(株)国際電気セミコンダクターサービス関東センターでは2015年からさいたま市が推進するボランティア活動である「さいたまロードサポート制度」へ参加し、毎月1回、昼休みの時間などを利用して会社周辺道路の清掃活動を行っています。自分たちが働く会社周辺の環境がより快適なものになるよう、今後も継続して活動に取り組んでいきたいと思えます。(2018年5月25日)



事務所の周辺を清掃中



植え込み内のゴミを拾っています



関東センターのメンバー

ウラジオストク演奏旅行 ～ 日ロ文化交流年・秋の交流コンサートに参加

音楽を通じて世界をつなぐ活動を行っている指揮者；柳澤寿男氏と関東近辺のアマチュア演奏家が、日ロ文化交流年認定事業としてロシア・ウラジオストク市への演奏旅行を行いました。

プロコフィエフ記念第一音楽学校での交流演奏会で、日ロ両国の民謡にちなむ室内楽を披露、現地生徒達の演奏を鑑賞しました。国立極東芸術大学ホールでの友好交流公演では、現地の歌手が加わってファリヤの「恋は魔術師」組曲、モーツァルトのホルン協奏曲第1番、ガーシュインのピアノ協奏曲、最後に邦人作品を演奏し、大喝采を博しました。現地日本国総領事館と芸術アカデミーの関係者から、アマチュアながら驚くほどレベルが高いと、称賛と謝辞をいただきました。

(2017年11月3日)



舞台上右から2番目のコントラバス奏者が当社従業員 写真提供:大塚健夫氏